



**NEWS** 静岡県がぐっと近くに! 中部横断自動車道 山梨～静岡全線開通

中部横断自動車道の南部IC～下部温泉早川IC(約13.2km)が8月29日に供用開始となり、双葉JCT～新清水JCTの約74.3kmが全線開通しました。

これにより、山梨県庁から静岡県庁までの所要時間は国道52号を利用する場合と比べて約70分短縮され、約1時間35分となります。また、新東名・東名高速道路と中央自動車道が直結し、新たな交通の大動脈が形成されました。

開通式に出席した長崎知事は「山々に囲まれた本県にとっては長年待ち望んでいた開通。清水港や富士山静岡空港へのアクセスが向上し、本県の経済や観光の活性化に計り知れない効果が期待できる」と開通を喜びました。

県は、沿線の峡南5町と「峡南地域道の駅ネットワーク協議会」を立ち上げ、道の駅を拠点に地域の魅力や観光情報を広く発信するなどしています。今後も、開通を契機に沿線地域の活性化がより推進されるよう取り組んでいきます。



山梨・静岡両県の関係者が開通を祝った

みんなでつながる  
**道の駅TV 山梨**  
 MICHI-no-EKI TV Yamanashi

道の駅などに設置するデジタルサイネージとInstagramが連携して旬な地域の魅力を発信

フォローして  
 峡南地域の  
 情報をチェック▶



県が整備した中部横断自動車道の身延山IC

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。

## 新たな交流拠点「やまなし地域づくり交流センター エミフル」開館



エントランス



コワーキングスペース



大会議室

さまざまな人が集まって交流し、そこから新たな活動や事業が生まれる場となるよう県が整備した「やまなし地域づくり交流センター」が、8月にオープンしました。

施設の愛称は、県内外から応募があった600点を超える候補の中から、利用する皆さんの表情に笑顔があふれる様子を明るく表現した「エミフル」に決定しました。

エミフルには、仕事をしながら情報交換や交流ができるコワーキングスペース(共有オフィス)や会議室、多目的ホールなどが設けられているほか、県庁防災新館から移転した県ボランティア・NPOセンターが入っています。また、社会貢献活動や社会的起業・創業を目指す方を支援するため、専門家が相談に乗ってくれます。

この施設を中心に、県民や企業、NPOなどによる連携や協働が広がり、活力ある地域づくりや地域経済の活性化につながるよう、今後も取り組んでいきます。

## 食品ロス削減に貢献 県庁でフードドライブを開催



武田菱丸(左)から食品を受け取った県の食品ロス削減推進マスコット「かんしよくま」(右)

詳しく知りたい方は二次元コードから

やまなし食ロス  
3ゼロ運動

- ①料理の食べ残しをゼロに
- ②食材の無駄をゼロに
- ③使わない食品を届けてゼロに



まだ食べられるにもかかわらず、捨てられてしまう食品のことを「食品ロス」といいます。県では、消費者や事業者、行政が一体となって食品ロス削減を目指す取り組み「やまなし食ロス3ゼロ運動」を展開しています。

この運動の一環として県庁内でフードドライブ※を開催したところ、1週間で約360キログラムものお米や缶詰、乾麺などが集まり、持ち寄った職員からは「家では余らせてしまう食品を必要な方に届けられることがうれしい」「職場で集めるので気軽に参加できて良い」などの声が聞かれました。これらの食品は、山梨県社会福祉協議会を通じて、支援を必要としている方や団体に届けられました。

今後も庁内外でフードドライブ開催を呼びかけるなど、県内の食品ロス削減に向けた取り組みを推進していきます。

※主に家庭で余っている食品を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動のこと。

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。